

市長通信 輝く! あげお

地震を想定し実地訓練

「大規模な地震が発生した」との想定で、市職員による「災害対策本部設置運営訓練」を2月2日（日）に実施しました。昨年8月に実施した水害を想定した「情報伝達・避難訓練」に続くものです。災害対応訓練の専門家に協力を頂き、災害対応の一連の流れを仮想のシナリオに基づき、実地に体験することが目的です。

マグニチュード8.1、県内の最大震度7の想定で、市内の被害シナリオが用意されました。市では地震発生後、速やかに災害対策本部を立ち上げ、最大規模の非常体制二号配備を発令します。今回は訓練員73人を動員しました。

地震と同時に仮想シナリオに基づき市民や関係機関から問い合わせや被害状況が続々と入ります。訓練員は、ホワイトボードや地図を最大限活用し、情報の収集や整理、分析を行うとともに、関係機関との情報共有、市民への情報提供などを行います。

実践訓練ですから外部から同時多発的に大量の情報が入ります。その中で重要度の判断や分析を瞬時にすることや、必要な情報をいかに早く市民の皆さんに伝えるかなど、訓練を通して多くの学びがありました。また被害が大きく対応が長期にわたる時には持続可能な本部体制の整備も大切だと感じました。

今回の訓練をしっかりと検証し、いざという時に最善の行動がとれるよう平時から防災力向上に努めていきたいと思えます。

仮想シナリオによる職員実地訓練



1枚の地図で正しい情報を共有します